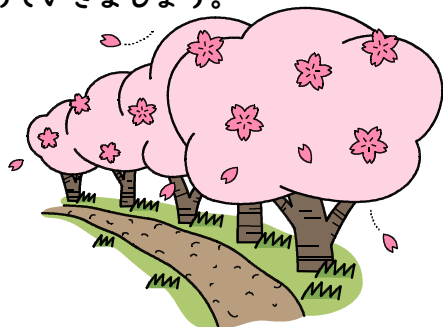


進路もコロナに負けるな！

新型コロナウイルスの感染者が東京や大阪では増加傾向にあり、第4波の襲来が懸念されています。北海道でもゴールデンウィークの人の流れから感染の拡大が心配されています。日頃の感染予防や感染リスクを回避した行動など、今できることをしっかり続けていくことがまだまだ続くようです。その影響により来年4月に看護学科の開設を目指していた帯広大谷短期大学が19日(月)に再来年(2023年)4月以降に延期を発表しました。管内では帯広高等看護学院や社会事業協会帯広看護専門学校がありますが、志願者も多く地元の学校としては狭き門ですので、学科の開設を期待していた人もいたのではないのでしょうか。地元というと19日の十勝毎日新聞で報じられていました(右下記事)が、管内企業にもコロナの影響があるようです。管内企業は札幌などの企業に比べて安定しており、コロナの影響は少ないと言われていますが、コロナが長引けば楽観視はできません。就職希望をしている人はもちろん、進学する人もいずれは就職するわけですから、社会情勢や現状を理解して対策を講じていく必要があるでしょう。今年は桜の開花が一週間ほど早まり間もなく開花しますね。ゴールデンウィークが明けたら1年生はすぐに宿泊研修に出発します。計画には「進路に関する講演」などもあります。今から自分を理解し将来について考えてみましょう。2・3年生は「進路ガイダンス」や「オープンキャンパス」などが始まっています。コロナ禍でWebやオンライン面談なども増えてきています。それには定員や人数制限などもある場合があります。申し込もうと思ったらもう締め切られていた、ということが昨年度はありました。開催回数や時期もあり、総合型選抜の入学試験(旧AO入試)には参加が義務づけられていたり、面接ではオープンキャンパス参加の感想を聞かれますので、こちらも計画的に準備を進めていきましょう。3年生の就職希望者は5月13日(木)から就職学習会が始まります。3年生は高体連や学校祭準備に加えて、6月はじめの前期中間考査へと5月は押し寄せる大波のごとく、やるべきことが押し寄せてきます。しっかりとその波を乗り越えて進んでいけるように準備を進めていきましょう。



十勝毎日新聞 (令和3年4月13日 第3版 経済部) 〇十勝毎日新聞

十勝主要12社 新卒採用 300人割る

新型コロナ、不透明感

「予定通り」も多数

十勝毎日新聞記者が、十勝管内の主要12社に、今年度の新卒採用計画について取材した。十勝管内の主要12社は、今年度の新卒採用計画について、十勝毎日新聞記者が取材した。十勝管内の主要12社は、今年度の新卒採用計画について、十勝毎日新聞記者が取材した。

会社名	2021年	2020年	2022年見込み
秋田建設工業	9(4)	8(3)	9人
宮坂建設工業	19(11)	18(10)	15~20人
明月	56(4)	58(4)	未定
六花亭製菓	25(15)	41(19)	未定
オカモトグループ	76(64)	112(84)	検討中
帯広日産自動車	13(0)	8(0)	例年並み
ダイイチ	27(17)	18(6)	目標30人
福原	17(1)	6(4)	20人程度
帯広信用金庫	27(10)	26(9)	30人程度
NCおびひろ	0	1(1)	若干人
井成レンテム	8(6)	13(4)	15人程度
マテックグループ	19(3)	23(2)	未定

十勝管内の主要12社は、今年度の新卒採用計画について、十勝毎日新聞記者が取材した。十勝管内の主要12社は、今年度の新卒採用計画について、十勝毎日新聞記者が取材した。

